

ウルスラ 英智

vol.37 2016.9.1



特集
1

慶長遣欧使節出帆400周年
慶長遣欧使節関係資料世界遺産登録記念
ローマ教皇謁見使節団派遣
「明日への希望」事業報告

特集
2



本学院卒業生/高橋礼華・松友美佐紀ペア
《金メダル》おめでとう!
リオ・オリンピック金メダルへの道



ローマ教皇謁見使節団派遣 「明日への希望」事業報告

ごあいさつ

学校法人 聖ウルスラ学院 理事長

梶田 叡一



幼稚園でも学校でも「未来社会からの留学生」をお世話しているのだ、ということがよく言われます。子どもたちは、我々大人が現在生きている社会から大きく変化していく未来社会を、自分自身の力で生き抜いていかななくてはなりません。そのために必要となる資質・能力を、幼稚園や小中学校、高等学校の日々の活動を通じて、予め着実に身につけていかなければならないわけです。

未来社会で生きていく上で最も必要とされるのが、グローバル化が進み、知識爆発的な動きが進行していく中で、主体的に生きていく力ではないでしょうか。広い知識も必要でしょうし、自分で考え問題を解決できる力も必要ですし、コミュニケーション能力も必要でしょう。しかし何よりも、タフでたくましく、心身とも健康で、自分なりの志を持つようになる、という方向での人間成長が不可欠ではないでしょうか。こうした力を子どもたち一人ひとりに着実に身につけていってもらおうと、聖ウルスラ学院英智では全教職員が力を合わせ、種々の教育プログラムを工夫すると同時に、日々の地道な教育実践に責任を持って取り組んでいます。「未来社会からの留学生」のために、まさにこうした人間教育こそが必要とされている、と考えているのです。

聖ウルスラ学院英智の教育土台にあるキリスト教の精神と、仙台伊達家の御屋敷の跡地に一本杉キャンパスが立地しているという由緒とを大事にしなが、未来社会に向け、まさに「明日への希望」に向かって、今後とも前進していきたいと考えています。本学院の教育について日頃からご理解ご支援いただいていることに改めて感謝申し上げますと共に、今後とも一層のご指導ご鞭撻をいただきますよう、心からお願いしたいと思います。

慶長遣欧使節団出帆400周年 ローマ教皇謁見使節団派遣事業 「明日への希望」を終えて

学校法人 聖ウルスラ学院 名誉顧問
仙台伊達家十八代当主

伊達 泰宗

この度、慶長遣欧使節団出帆400周年ローマ教皇謁見使節団派遣事業「明日への希望」を無事終えることができましたことは、本事業に対し深いご理解とご支援を賜りました多くの団体並びに個人そして保護者会のお力添えによるものと厚く感謝を申し上げます。

本事業の実施にあたりましては、カトリック仙台司教区平賀徹夫司教様ご教導のもと、学校法人聖ウルスラ学院、伊達家伯記念會主催によって準備が進められました。

慶長18年(1613)、仙台藩祖伊達政宗公の命による慶長遣欧使節は、我が国最初の公式外交使節として知られ、その事績を記す関係資料は2013年、日本とスペインとの共同推薦によって世界記憶遺産に登録されました。

時は流れ「明日への希望」使節団は、慶長遣欧使節一行が教皇パウロ5世に謁見してより400年後の2015年11月3日に合わせ、サン・ピエトロ大聖堂での記念御ミサに参列し、翌4日には、フランシスコ第266代ローマ教皇との謁見をお側にて果たし、祝福を頂きましたことは参加者にとって、何よりの喜びであったことと思います。

当時、キリスト教の禁教から鎖国へと向かう時勢下にあつて、国境や宗教といった隔たりの超えた平和な国造り実現を目指された「平和への願い」そして新しい時代の到来に向けて行動された政宗公の志は、「明日への希望」使節団へと受け継がれ、本学院の新たな歴史の一頁として綴られました。参加された生徒17名は、聖ウルスラ学院英智に集う児童生徒の代表者たる自覚のもと、先人たちが創った誇るべき歴史と精神を次代へと継承し、未来の国際人として更なる成長を遂げられますと共に、国家や地域などの境界を越えた平和を願う世界の人々との懸け橋となっていきたいと強く願っています。



右はカトリック仙台司教区
平賀徹夫司教様



事業の趣旨・目的

本学院一本杉キャンパス（現在の小・中学校、高等学校敷地）は1952年伊達家の旧伯爵邸の跡地を譲渡されて立地した経緯があり、また、2015年が伊達政宗の命で支倉常長を团长とする慶長遣欧使節がローマ教皇に謁見をはたしてから400年目に当たる特別な年であることから、慶長遣欧使節団の夢と希望と苦難の旅を現代の私たちが追体験し、「明日への希望」につながる手がかりを模索することとしました。

事前研修

参加予定者を対象に6月20日（土）～10月2日（金）まで校外外で5回にわたる事前研修会等が行われ、慶長使節船ミュージアム館長濱田直嗣氏、仙台伊達家十八代当主伊達泰宗氏、カトリック元寺小路教会では平賀徹夫司教の講演などが行われました。

また、10月10日（土）には石巻のサン・ファン・パウティスタパークを訪問し、係留されている復元船を眼下にして、関係者一同による記念植樹式を行いました。



慶長使節船ミュージアムの濱田館長による事前研修会



伊達泰宗様による記念講演会

事業概要

主催	伊達家伯記念会・聖ウルスラ学院（共催：瑞巖寺）
日時	平成27年（2015年）11月1日（日）～11月9日（月）
訪問地	パチカン大聖堂、ローマ市内主要大聖堂、チビタヴェッキア港、アッシジ、他
派遣団	総勢47名 （カトリック仙台教区司教、仙台伊達家18代当主、本学院理事長、関係教職員 児童生徒22名他、上智大教職員等4名含む）
行程等	慶長遣欧使節の行程を巡る旅、教皇謁見、主要聖堂党におけるミサ、等
その他	記念バッジ作成（校内の公募による）



記念植樹式

後援・協賛・支援への御礼

《後援団体》

宮城県、仙台市、宮城県教育委員会、仙台市教育委員会、東北福祉大学、上智学院、宮城県商工会議所連合会、東北放送、仙台放送、聖ウルスラ学院英智教育研究実践後援会

《協賛団体》

七十七銀行、株式会社 藤崎、株式会社 三越

《協賛金御寄付者芳名簿（順不同/敬称略）》

伊達家伯記念会 株式会社
（一社）伊達家鳳文会
東北福祉大学 学長
東北福祉大学後援会
（株）藤崎
代表取締役社長 藤崎 三郎助
西松建設（株）
（株）齋喜ビル
代表取締役 齋藤 喜平
法律弁護士事務所
弁護士 浅石 紘爾
（株）七十七銀行 南小泉支店
（株）ビルワーク
代表取締役 納庄 和雄
瀧本（株） 仙台支店
（株）JTB東北法人営業部
仙台支店
（株）アド東北プロ
（株）白木屋
（株）SJC
（株）小山商会 仙台支店
（株）三立

（株）東陽写場
（株）ハヤシ印刷
（株）宮城環境保全研究所（所長）
（株）宮城環境保全研究所（個人）
（株）山下設計 東北支社
（一社）漢字文化振興協会
在仙台フィジー共和国名誉総領事館
名誉総領事館 守屋 隆之
上智大学
アジア人材養成研究センター
仙台富士交通（株）
伊達家鳳文会 川村 洋子
ビタウ先生を語る会 佐藤 牧子
ビタウ先生を語る会 岡山 康子
ビタウ先生を語る会 枝川 葉子
（有）フタバタクシー
テルウェル東日本（株）
（株）レバスト
東通インテグレート（株）
宮城商事（株）
（有）BRUCE INTERFACE
理想科学工業（株） 東北営業部

学校法人聖ウルスラ学院
評議員 梅原富美子
学校法人聖ウルスラ学院
理事長 梶田 亅一
学校法人聖ウルスラ学院
法人事務局長 高橋 直見
聖ウルスラ学院英智小・中学校、高等学校
校長 伊藤 宣子
聖ウルスラ学院 法人事務局一同
聖ウルスラ学院英智幼稚園 教職員一同
聖ウルスラ学院英智小・中学校 教員一同
聖ウルスラ学院英智高等学校 教員一同
聖ウルスラ学院英智小・中学校 児童生徒一同
聖ウルスラ学院英智高等学校 生徒一同
聖ウルスラ学院英智高等学校 同窓会
聖ウルスラ学院 卒業生有志 森 輝美
工藤 廣子
志村 牧子
三坂かおり
浅井みどり
石原名穂子
小野 真峯



訪問地

1
日
目

11月1日(日) 出発式

- JR新幹線仙台駅「中央改札口」付近〔出発式〕
- JR新幹線～JR成田エクスプレスにて成田空港
- アリタリア航空785便にてローマへ
- 着後、専用バスでホテルへ



一人ひとりがそれぞれの希望と使命をもって、元気に旅立ちました。

2
日
目

11月2日(月) ローマ入市式パレードコースを巡る

- イエズス会本部でごミサ
- 1615年10月29日に行われた慶長遣欧使節団のローマ入市式パレードのコースを徒歩で見学(サン・ピエトロ広場、サンタンジェロ城・橋、パンコ地区、ヴァッレ地区、カピドリーオの広場、ヴィットリア・エマヌエーレ2世記念堂、カンピドリーオの丘のサンタ・マリア・イン・アラチェーリ教会)
- コロッセオ、サン・ジョヴァンニ・イン・ラテラノ教会
- ホテルで夕食



支倉常長一行にとって最も榮譽に満ちた一日となったローマ入市式の道のりを、今回の使節団も徒歩でたどりながら往時に思いを寄せました。常長一行がそうであったように、私たち使節団も、喜びと感激のうちに聖都ローマに立ったことを自覚しました。

3
日
目

11月3日(火) サン・ピエトロ大聖堂 慶長遣欧使節教皇謁見400周年記念ミサ



支倉常長一行が時の教皇パウロ5世に公式謁見を果たしたのは1615年11月3日。そのちょうど400年後の記念ミサとなりました。10月18日にチヴィタヴェッキアに到着していた常長一行がローマに入ったのは7日後の10月25日。その日のうちにクイリナーレ宮殿で非公式ながら教皇に謁見を果たしています。その後、29日にローマ入市式が盛大に行われローマ市民からの大歓迎を受け、11月1日にはこのサン・ピエトロ大聖堂でミサに招かれてパウロ5世から祝福を受けました。

- サン・ピエトロ大聖堂でごミサ及び見学
- 使節団が何度も訪れたサンタ・マリア・マッジョーレ教会、トレビの泉、スペイン広場
- 市内のレストランで夕食



記念ミサに先立って、伊達泰宗様による香木の奉納が行われました。この香木「ふた葉の松」には、今回の「明日への希望」の願いと、戦国武将であったからこそ政宗公が抱いた平和への思いとが重なり合って表現されていました。



ミサの様子。このミサは参加生徒たちにも特別な記憶として刻まれました。



サン・ピエトロ大聖堂内の本学院創立者 聖アンジェラの御像。(表紙写真画面の左側中央「DILIGO」文字の下)

4
日
目

11月4日(水) ローマ教皇フランシスコ謁見

- ローマ教皇謁見
- カトリック系学校の視察、聖ウルスラ修道会本部訪問及び本部修道会でごミサ
- 古代ローマのポンペイハウス劇場の遺跡の上にあるレストラン・パンクラツィオで夕食



この日のローマ市内は見事な秋晴れ、汗ばむほどの陽気に恵まれました。澄み渡る青空のもと、会場のサン・ピエトロ大聖堂前広場には、思い思いの巡礼旗を手にした巡礼団が聖歌を歌いながら続々と押し寄せていました。その数約4万人、私たちもその中に混ざって「明日への希望」の旗を高く掲げて、平賀司教様のあとに従って教皇様に謁見してまいりました。

聖ウルスラ修道会ローマ本部訪問

一行は、聖ウルスラ修道会のシスターのご案内で、メリーマウント小・中学校から徒歩で数分のところにあるローマ本部を訪問し、そこでミサにあずかりました。聖ウルスラ修道会ローマ本部の聖堂は、祭壇に向かって左右の壁全体の壁面に聖ウルスラと聖アンジェラの物語が描かれている聖堂で、忘れられないミサとなりました。





5
目
目

11月5日(木) チヴィタヴェッキア訪問 及び ミサ

- 1615年10月18日に使節団が到着したチヴィタヴェッキア訪問
- 支倉常長像、長谷川路可作「日本26聖人」のある日本殉教者教会(ごミサ)
- ローマへ~天正遣欧少年使節団が宿泊したかつてのイエズス会本部ジェズ教会
- ホテルで夕食



日本聖殉教者教会は、1597年長崎で殉教したクリシタンや宣教師ら日本での最初の殉教者26人のために、1862年に建てられた教会です。第二次世界大戦で空襲を受けましたが、戦後すぐに再建。その際に日本人画家長谷川路可が1951年から6年かけて描いたフレスコ画には、聖母子、殉教者たち、支倉常長、らが描かれています。特に和服姿の聖母子と26人の殉教の様子が印象的でした。



ルイジ・カラマツタ広場側にある支倉常長像。使節団の上陸地チヴィタヴェッキア市と出航地の石巻市は、その縁で姉妹都市条約を結んでおり、この像はその20周年記念として1991年に建てられました。

6
目
目

11月6日(金) アッシジの聖フランシスコ大聖堂 及び ミサ



- 聖フランシスコの故郷アッシジへサンタ・マリア・デリ・アンジェリ教会 聖フランシスコ大聖堂でごミサ および見学
- ローマへ向け出発~ホテルで夕食



聖フランシスコの故郷「アッシジ」を訪ねました。ローマの北方約200kmに位置する人口2万人余の小さな町は、キリスト教徒巡礼の地として世界中からたくさんの人々が訪れています。聖フランシスコは13世紀に生きたカトリックの聖人で「第2のキリスト」と呼ばれ、今も世界中の人々から愛されています。聖フランシスコは同土と共に「小さき兄弟会(フランシスコ会)」を創した(1223年)、のちに慶長遣欧使節団の外交交渉を担った宣教師ルイス・フロイスは、このフランシスコ会の会員です。



7
目
目

11月7日(土) 城壁外の聖パウロ大聖堂 献書・献香・ミサ

- (2グループに分かれて)「支倉使節団」のあるクリリナーレ宮殿見学、サン・カリストのカタコンベ
- 「城壁外」の聖パウロ大聖堂(ごミサ)
- ホテルで夕食



最後の訪問となったこの「城壁外の聖パウロ大聖堂(サン・パウロ・フォーリ・レ・ムーラ)」はローマの守護聖人である聖パウロの墓をまつる教会で、4大バジリカの一つです。

324年サン・ピエトロ同様コンスタンティヌス帝によって建てられましたが、1823年の大火災によって聖堂の大部分が焼けてしまいました。1824年から30年かけて復元され、1931年に現在の聖堂が完成しました。



ミサに先立って、高橋真理芸術科主任による「献書の儀」の様子。伊達政宗公の漢詩「馬上少年過」と、この詩をラテン語訳したものを書にして献上しました。

8
目
目

11月8日(日) (最終日) 市内散策



パンテオン

パンテオンという言葉には「万神殿」という意味があります。ミケランジェロが「天使の設計」と賞賛したローマ建築神殿で、2000年も昔の神殿が今も完全な形で残っています。



ナヴォナ広場

2000年以上前の競技場が元となった細長い形をした広場で、中心にはバロック彫刻の傑作、ベルニーニ二作の「四大河の噴水」があります。

9
目
目

11月9日(月) 到着式

- 成田到着後、入管手続き
- JR成田エクスプレス~JR新幹線はやぶさにて
- JR新幹線仙台駅南口「改札口」付近(到着式) ~解散



《成田空港北ウィング》

11月9日(月)、司教様、伊達様を始め随行した先生方、「若き未来の国際人」たることを期待された児童・生徒も、疲れの表情を見せることなく帰国。一目で彼ら若者が成長したことが分りました。



《仙台駅3階》

仙台駅では多くの家族、学校関係者、生徒会役員等生徒代表が期待を持って出迎えました。

本学院卒業生/高橋礼華・松友美佐紀ペア 《金メダル》おめでとう! リオ・オリンピック金メダルへの道



【バドミントン女子ダブルス】金メダルへの軌跡はここから始まった!

聖ウルスラ学院英智での厳しい練習～県大会の成績

オリンピック金メダルは宝くじのように運よく転がり込んだものではありません。高橋選手は中学時代からの6年間、松友選手は高校時代の3年間、聖ウルスラ学院英智で才能を磨く厳しい練習の日々がありました。コーチ、監督の優れた指導はもとより、レベルの高いバドミントン部の先輩後輩に囲まれ、その才能は磨かれました。

聖ウルスラ学院英智中高バドミントン部の成績は、県高校総体でこれまで38回優勝し、1982年からは35回連続でインターハイ(全国高校総体)出場、うち団体全国制覇(日本一)が3回あります。**高松ペアが出場した2008年の埼玉インターハイでは、団体、ダブルス、シングルの三冠を見事に達成しました。**他に、全国選抜では団体優勝3回、ダブルス2回、シングルス2回優勝をしています。



2008年埼玉インターハイで
団体、ダブルス、シングルの三冠達成!

オリンピック出場 激励壮行会(6月20日)

～小・中学校生、高校生1,300名が高松ペアを激励、在校生も元気をもらう

6月20日(月)、高橋、松友両選手を迎え、小・中学校、高校生1,300名が集いウルスラ英智体育館で激励の壮行会を行いました。両選手は「ウルスラでの練習の成果があってこそ、今の私たちがいます」「オリンピックでは持てる力を十分に発揮し金メダルを目指します」など、決意を語りました。



左から、高橋選手、田所光男総監督、松友選手



在校生から花束の贈呈
(左は所属する日本ユニシス実業団バドミントン部の小宮山監督)



全員で「がんばれ! タカマツ!」の小旗をふって応援しました

宮城県知事・仙台市長からの激励

激励壮行会のあと、同日県庁、市役所を訪問し、村井知事、奥山市長から激励を受けました。ここでも、高橋、松友両選手は「持てる実力を十分に発揮できるよう頑張ります。」と決意を表明しました。また、村井知事はこの日のために金色のネクタイで歓迎し、激励しました。



左から、深瀬顧問、田所総監督、小宮山コーチ、高橋教育長、高橋選手、村井知事、松友選手、梶田理事長、伊藤校長



左から、高橋選手、村井知事、松友選手



左から、深瀬顧問、田所総監督、高橋法人事務局長、伊藤校長、松友選手、奥山市長、高橋選手、小宮山コーチ、梶田理事長

現地リオで全試合観戦！ 熱血応援の田所光男総監督！

本学院卒業生の高橋礼華・松友美佐記ペアは、日本バドミントン界史上初めてオリンピックで金メダルという快挙を成し遂げました。高松ペア生みの親である本学院英智バドミントン部田所光男総監督は、8月リオ・オリンピックに赴き、予選リーグから決勝戦までつぶさに観戦し、激励や祝福を行いました。その観戦の記録を紹介します。



現地での貴重なオフショット

母校での応援

～講堂にパブリックビューイング～

母校聖ウルスラ学院英智では小・中学校講堂に大型スクリーンを設置して、リアルタイム応援のためパブリックビューイングの場を設けました。在校生、同窓生、教職員など大勢の方が詰めかけ、8月18日深夜から19日未明にかけての決勝戦では、日の丸の鉢巻き、旗、スティックバルーンを打ち鳴らし、接戦に一喜一憂し、決勝の高松ペアの得点が決まると大きな歓声に包まれました。



観戦レポート

聖ウルスラ学院英智
バドミントン部総監督 田所 光男



◆現地入り

岡山インターハイ団体戦終了後、急ぎ足で岡山駅から新大阪経由で関西空港へ。深夜便でアラブ首長国連邦ドバイ経由でかなりきつい旅でやっと約30時間リオデジャネイロ着。宿舎は試合会場から徒歩20分くらいで便利なコンドミニアムマンションで選手村と隣接し警備体制等安全な場所だった。

◆予選リーグ

予選リーグの3試合は初出場のためか少々動きが悪くミスもあり、しかし持ち前のコンビネーションで全勝で決勝トーナメントへ進出した。

◆決勝トーナメント

第1試合のマレーシア戦は初めて1ゲームとられ、ファイナルゲームは本来の攻撃パターンで楽勝し、ベスト4入り。

第2試合の韓国戦は直近の2試合では負けているので、準決勝は今大会の一番の山場と考えていたが、予選リーグを通じ一番動きがよく、韓国ペアにストレート勝ちし決勝へ進み、本人たちもリベンジができてうれしそうだった。

◆金メダルをかけた決勝戦

決勝の相手は、欧州の覇者デンマークペア。長身のドライブ、スマッシュが冴え決勝まで強豪ペアを撃破し進んできた。

1ゲームはデンマークペアの長身からの攻撃が決まり、防戦になり接戦で取られた。

2ゲームに入ると本来の攻撃が見られた。デンマークペアは1ゲーム目のような戦いがまったく見られず、3ゲーム勝つための作戦かなとも感じた。

3ゲームは16対16までは緊張したゲームになり、どちらのペアが抜け出すのか予想もつかず、デンマークペアの猛攻撃が始まった。レシーブにミスが出て3ポイント連取され、16対19と3本突き放され絶体絶命に至った。しかし、松友のおもいきりの良いネット前のブッシュ及びクロススマッシュが冴え、3点連取、19対19ここから高橋の粘り強い攻撃で相手のミスを誘い、2点連取で16本から連続で5本取り、見事金メダルを勝ち取った。

◆勝利のポイント

5ポイント連取で逆転し勝利を勝ち取った理由として考えることは、あの場面で自分たちが今何をしたら逆転できるのかを一人一人瞬時に判断し、その判断が2人の共通する考えだったのではないかと考える。常に指導者からの指示通りに動くのではなく、指導者からの指示を自分なりに判断し練習等に取り組んでいるからこそ、大事な場面で判断し、いいプレーができたのではないかと。

◆最後に

学校関係者、宮城県民、日本国民の皆様からの力強い応援で金メダルを取ることができたのだと思う。皆様方に感謝申し上げます。

自宅での応援エピソード

深夜の決勝戦であったことから、自宅テレビでの観戦応援も多数ありました。ある家庭では熱心にテレビ観戦応援していた小2の子が「(壮行会でみた)あの先輩が優勝した」といって号泣したということです。保護者は「(先輩選手と一体になった)わが子の姿に感動しました」というコメントを学校に寄せました。

がんばれ!
タカマツ!

たくさんの感動を
ありがとうございました!

お知らせ News

■宮城県知事、仙台市長、県議会議長の表彰

宮城県知事から「県民に元気と笑顔を与えた」趣旨で「**県民榮譽賞**」、仙台市長から「**賛辞の楯**」、宮城県議会議長から「**議長特別表彰**」の贈呈があるというニュースがありました。

■金メダル受賞祝勝会・祝賀会(本学院主催)

2016年10月5日(水) 激励壮行会と同じ本学院体育館で開催することになりました。



ことばってたいせつ

子どもたちは園生活でいろいろな経験をする中で、様々な感情が生まれ「うれしい」「たのしい」「かなしい」など、自分の気持ちをことばにして表現すること、友だちの思いに共感することを学んでいきます。

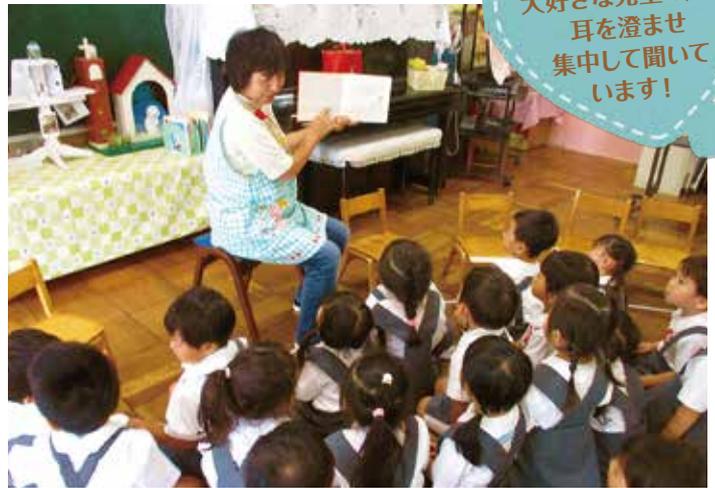


みんな大好き 絵本

幼稚園の子どもたちは、紙芝居や絵本、先生の素話など、たくさんの物語にふれて豊かな情操を育みます。

年少のころからおはなしの世界の楽しさを覚えた子どもたちは、自然と「聞く」ことを身に付けます。

子どもたちは、図書の貸し出しを通して、家庭での読み聞かせや、自分で字を拾い読みするなど、より絵本に親しみを感じるようになりました。また、自分の気持ちを表すことばを知り、友だちや自分以外の人の気持ちを想像しながら、その場に合った適切な言葉の使い方を学んでいきます。

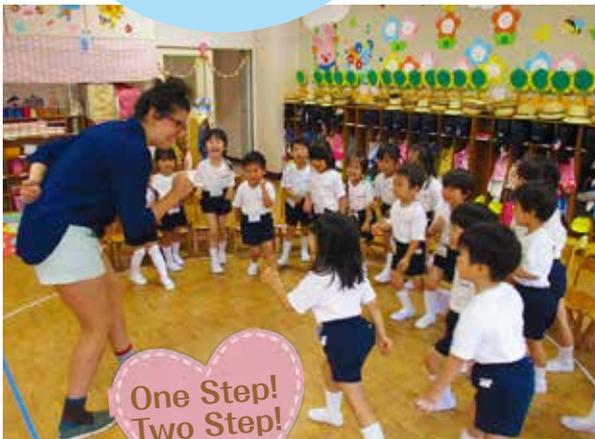


大好きな先生の声に
耳を澄ませ
集中して聞いて
います!

みんな大好き

ENGLISH

英語教育を通して、外国のことばに触れ、子どもたちは英語に興味や面白さを感じながら、ネイティブの先生とのコミュニケーションを楽しんでいます。日本語の表現との違いや発音も楽しんでいます。



One Step!
Two Step!

Knock!
Knock!
Open!!





なつまつり

子どもたちが楽しみにしている行事の一つに、「なつまつり」があります。毎年、様々な催し物が企画されますが、今年は本格的なマジックショーが行われました。二人のマジシャンの方の手先から次つぎと繰り広げられる華やかで不思議なステージに子どもたちの目はくぎ付け!



すごい!!

えーっ! なんて!?

ゆかた・甚平で歌を披露



子どもたちによる出し物として、学年ごとにこの日のために練習してきた歌を披露しました。浴衣や甚平を着た子どもたちがお客様の前に立ち、笑顔で張り切って歌います。

3学年が縦割りで作ったおみこし

1組チーム
ケーキ
キャッスル



2組チーム
222GO!



3組チーム
レインボー
マウンテン



また、今年は初の試みとして、3学年の縦割りで協力して作ったおみこしが登場しました。1組チーム・2組チーム・3組チーム、それぞれがオリジナルの素敵なデザインです。年長組が代表してグラウンドを練り歩き、年中、年少児も「わっしょい! わっしょい!」と掛け声で参加しました。

みんなで盆踊り



たのしい!!



フィナーレはおみこしを囲んでの盆踊り。懐かしい卒園生の顔もあちらこちらにみられ、みんなで楽しい夏の夕べを過ごしました。

おまつりの最後は…

おみやげに水ヨーヨーをもらってご機嫌の子どもたちでした。



ありがとう!!

小学生気分を味わってきました！

～ミニ体験授業&英語交流会～

年長組は、6月17日(金)にミニ体験授業を楽しみ、
7月13日(水)に「英語の歌」の発表を行って交流を深めてきました。



難しいリズムに挑戦!

全身でリズムを表現する「音楽」を体験



集中力がスゴイ!

美しい日本語を学ぶ「サントレ」を体験



創造力が膨らみます

絵本の読み聞かせて「言語技術」を体験

体験授業は「絵本の読み聞かせ」や「音楽」、そして「サントレ」の授業では漢字やことわざを学びました。小中学校の先生から直接学ぶ子どもたちは、少々緊張した面持ちでしたが憧れの気持ちもあり、どれも集中して参加する姿が見られました。幼稚園とは違う学校の大きさに驚きながら小学生の授業をのぞき、ちょっぴりお兄さんお姉さん気分を味わいました。

交流会では、少し緊張しているようでしたが英語が大好きな子どもたちは、小学生の前でも立派に歌っている姿が見られました。お兄さんお姉さんたちの歌を聞き、1年生ってこんなに色々なことができるんだ!と驚き感心していました。お兄さんお姉さんと一緒に歌をうたう場面もあり、元気いっぱい歌っていました。

子どもたちは、体験授業・交流会を通して、小学生に憧れる気持ちがより大きくなり、良い経験となりました。



上手に発音できたかな?

♪Twinkle Little Starを歌って「英語」で交流

祈りの心

～修道院の聖堂にて～



一本杉修道院

7月12日、年長はな1組の子どもたちは
『聖ウルスラ修道会 一本杉修道院』に行ってきました。

初めて修道院に入る子どもたちは緊張の面持ちでしたが、祈りの心を感じながら徐々に和らいでいきました。初めに、聖堂で聖歌を歌いお祈りをしました。聖堂にひびく子どもたちのかわいらしい歌声、また祈りの言葉もいつもとは違った荘厳さを感じ、子どもたちも心から祈ることができたようです。そして、シスター秋山から神様のお話をしていただきました。いつもと違う雰囲気を感じながら、真剣に話を聞き、傾ける姿が見られました。短い時間ではありましたが、子どもたちにとって貴重な時間を過ごすことができました。このような経験を大切に、今後も子どもたちに、宗教的な雰囲気を味わわせていきたいと思えます。

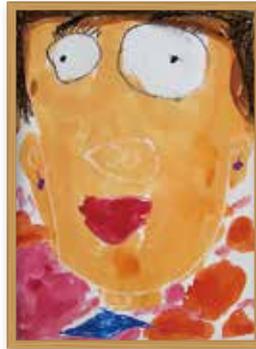




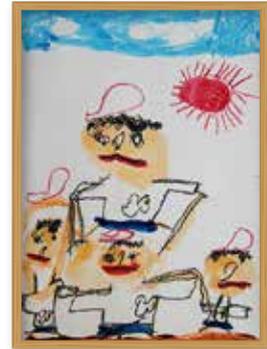
第75回 全国教育美術展



【特選】「すごくのびたね ひまわりのはな」
中嶋 仁埜(年長/5歳児)



【入選】「おかあさん」
柳瀬 瑠海(年中/4歳児)



【入選】「くみたてたいそう」
佐藤 摂那(年長/5歳児)

平成27年度
教育美術奨励賞 受賞
聖ウルスラ学院英智幼稚園

【佳作】 渡辺 一太 「どうぶつえん ライオン」(年長/5歳児)
鈴木 舞優 「ひまわりのたね いっぱいあるよ」(年長/5歳児)
寺島 拓夢 「おいもをほっているところ」(年長/5歳児)

第34回 みやぎ児童画展 — 第46回 世界児童画展 同時出展

平成27年度
**世界児童画展
都道府県団体賞 受賞**
聖ウルスラ学院英智幼稚園



【特選】「おとうさん」
※世界児童画展/入選
佐藤 煌真(年少/3歳児)



【特選】「せんたくしているおかあさん」
※世界児童画展/入選
工藤 琉久(年長/5歳児)



【入選】「おかあさん」
岩井 塔子(年長/5歳児)



【入選】「おとうさん」
クワジオ 大志 ウィリアム
(年長/5歳児)



【入選】「おとうさん」
川崎 汐里(年長/5歳児)

1st stage

ファーストステージ
＜1年～4年＞

ファーストステージでは、
ステージリーダーの4年生を中心に
たくさんの行事で活躍しています。

Fステージ運動会

今年で5回目を迎えた「ファーストステージ運動会」では、放送・決勝・召集・得点などの仕事を3・4年生で分担しました。児童一人ひとりが活躍し、大成功のうちに終わることができました。



熱が入る応援合戦！



ゴールテープを切る瞬間まで真剣です！



徒競走の着順をサポート！

1年生を迎える会

ウルスラ英智に入学した1年生がファーストステージの児童会に仲間入りする「1年生を迎える会」では、ファーストステージリーダーの4年生が運営を担当しました。3年生は学校生活の様子をわかりやすく紹介しました。



お花のアーチをくぐって迎えられます



宿泊学習の紹介



縦割り清掃の紹介

児童会行事 「絵画コンクール」



優秀賞

昨年度は、「思い出」をテーマに縦割グループに分かれ、どんな絵にするのか話し合いながらちぎり絵を完成させました。



小・中学校 としての 取り組み



全校制作 「七夕かざり」短冊に 願いを込めて・・・

1～9年生の児童生徒全員で七夕かざりを制作しました。折鶴・紙衣・投網・くずかご・巾着・吹き流しの7つ飾りを各学年が担当しました。



2nd・3rd stage

セカンドステージ<5年~7年>
サードステージ<8年~9年>

セカンド・サードステージでは
信幸会(児童・生徒会)を中心に
様々な行事が行われています。



G11~ジーイレブン~
(HR委員と各委員長で
構成された活動メンバー)

いじめ防止に向けた 行動宣言

生徒会長の呼びかけにより、セカンド・サードステージ全クラスでいじめ防止に向けた話し合いが行われました。いじめとは何なのか、いじめをしないさせないためにはクラスでどのようなことを行えばよいのか話し合い、各クラスの行動宣言を決めました。



6-Aの行動宣言

「人の気持ちを考えて親切にしよう!」



7-Cの行動宣言

「NO MORE」



T1-8の行動宣言

「価値観の違いを認め合い
様々な人と積極的に関わる」

パワーアップした うるすら☆ふえすた

今年で3回目を迎えた『うるすら☆ふえすた』。クラス・個人発表ともにレベルアップし、盛り上がりました。



担任の先生も登場!



創作劇「浦桃太郎」



絶妙なポケ・ツッコミ!



キングオブパフォーマンス!



大盛り上がり!
ももクロのライブ



生バンドで熱唱!!



創作劇「アラジン」

熊本地震への支援活動…、1日も早い復興を願って!

4月14日と16日に発生した熊本地震のニュースを知ってさっそく支援活動を行いました。5年前、私たちは全国からたくさんの支援をいただきました。今度は私たちの番!少しでも早く思いを届けようと全校生が協力して作業を行いました。

熊本のカトリック3校、熊本マリスト学園、熊本信愛女学院、八代白百合学園には2,000人の児童生徒がいます。小・中学校同窓会会員の皆様が用意してくださった支援金で子どもたちがお菓子を購入し、手作りの「みことばカード」を添えて、2,000人分のお菓子の詰め合わせを作り、届けることができました。

同時に信幸会(児童生徒会)の発案により募金活動も行い、保護者の方々からも多くの義援金が集まり、河北新報社を通じて熊本地方の方々に贈られました。私たちは心をひとつにして、一日も早い復興をお祈りしたいと思います。



特別志学コース Type1

徹底して自分の課題に向き合う ――夏期勉強合宿――

Type1コースでは、今年度も力をつけるチャンスの夏に岩手山青少年交流の家で勉強合宿を行いました。いつになく涼しい中で、施設の方々の多大なるご協力もあり、これまでの学習のまとめや日々の生活の見直しの機会を設けることができました。

「目標達成のためにひたすらに努力し続ける」というType1精神を鍛えるこの合宿では、中高生入り混じって学年の枠を超えて真剣に学習に取り組んでいます。また、様々な目的を持った他団体の方々もおられる中で、どのように行動すべきかを自分の頭で考えることも必要になります。学校や家庭から離れて他者と24時間を共に過ごすことで、学習面だけでなく、周囲への気配りや時間厳守など、社会生活を送るうえで大切なことも学ぶ機会にもなっています。

「気づく力」の大切さを再確認し、今後に向けて決意を新たにしたい夏合宿。その学びを自分自身の成長に生かそうと気を引き締めて日々の学校生活を送っています。

Type1コース長 鎌田 聡



特別志学コース Type2

志を持ち、仲間と共に、未来を自分の予想を超えたものへ！

本校グローバル教育を牽引するコースとして、Type2では今年度もあらゆることに全力で取り組む生徒達が活躍しています。昨年度1年生は学年の1/3が海外にでて、外から日本を見つめる経験をしました。

質と量のバランスを考えた受験に直結する学習計画の下で高大連携授業やフランス語、数多くの海外留学のチャンスを活かし可能性を広げています。H28年度からスタートした「グローバル実践」授業では、社会と・世界と関わりながら徹底したロジカル・クリエイティブシンキングの訓練を通じ、社会に奉仕する意欲ある社会人起業家・院生・大学生とともに学んでいます。この授業はU-MoGというアジアの問題解決留学プログラムに直結します。もちろん、これまで通り朝課外・個別課外・東京の大学見学研修・先輩方との交流など、人生を深める挑戦を重ねています。

複眼的視野・思考による世界基準のグローバルを意識した人物へ……様々な事象の裏にある「誰かの問題」を考え発想する大切さを学び、想像を創造に変える訓練は高校でこそ。この大切な時間を何にでも真摯に向き合う生徒達の活躍が、とても頼もしく楽しみです。

Type2コース長 内海 知子



尚志 コース

尚志コースの英語学習と国際交流

尚志コースでは、今年度から英語科の石井桃子先生を中心に「プラクティカルスタディー」が始まりました。英語学習の一環として、高校1年生が週に1時間、コンピューターやネットワークを活用して英語に親しみながら、確実に力をつけていくことをねらいとしたものです。教員が配信する動画やWebテストに取り組むことで、質の高い学習機会を持つと共に英検合格や模試対策にも活用できるものです。

先日は、「異文化コミュニケーションの素地を養うために」というテーマのもと、石井先生と国際理解委員会の企画で、アジアからの国費留学生3名との交流会が実施されました。留学生と本校生徒がお互いに国や地域に関しての英語によるプレゼンテーションを行い、笑い声も起こる和やかな雰囲気の中、生徒の中に国際的視野や興味が芽生えつつあることが伝わってきました。今後も継続していきたい企画です。

一方、様々な国からの留学生と日常的に交流する機会にも恵まれています。ニュージーランドからの留学生ロザリーさんと一緒に授業を受けたりお弁当を一緒に食べたり、遠足や球技大会などの行事を共にすることを通して、生徒たちは英語学習や異文化理解への意欲を日々新たにしています。

尚志コース長 太田 和幸



ソフトテニス部 (男子)

目指せ、全国大会!

尚志コース
2年 小野寺 駿介

私たち高校男子ソフトテニス部は、1・2年生合わせて19名で活動しています。日頃の練習では、基本を大切にしている、一人ひとり課題を克服するために常に考えて練習することを意識しています。部員全員がライバル意識を持ち活動できている部の雰囲気はとて熱く、活気に満ちた活動になっています。また、「礼儀がしっかりしていないチームは勝てないし勝たなくていい」という先生の教えから、技術面ばかりではなく、挨拶やしっかりした返事、周りへの心遣い、きびきびとした行動を部活動以外の場でも心がけていきたいと思えます。

競い合い、助け合い、チームとして団結して、全員の目標である「全国大会出場」を目指して日々努力していきます。



バスケットボール部

目標に向かって!!

尚志コース
2年 庄子 華菜

私たちバスケットボール部は3年生が引退し、1・2年生合わせて15人で活動しています。6月に行われた県高総体では目標であったベスト4には一歩及ばず悔しい結果となりましたが、私たちはこの悔しさを忘れず来年の高総体に向けて、日々の練習を頑張っています。

そして、部活動だけではなく、日々の生活の中でも気を引き締めて過ごしています。特に先生によく言われている「一度止まって挨拶」をするという基本の事など、こういった小さなことにも心掛けて行動しています。当たり前を当たり前だと思わず、周りにいる人に感謝しながら、これからも目標に向かって頑張っていきたいと思えます。



放送部

技術を磨いて レベルアップを!

尚志コース 3年 鎌田 陽菜

放送部は、現在20名で活動しています。主な活動内容は、週に1回卒業生でもあるプロのアナウンサーの先生からレッスンを受けながら、朝のお祈りや学校行事の司会・進行などを務めています。また、夏や秋に行われる大会に向けて、全国大会を目指し部員一丸となって、日々の練習に励んでいます。

今年6月に行われた「NHK杯全国高校放送コンテスト」では、3名が予選を通過し宮城県大会決勝に進出しました。そのうち2名が奨励賞を受賞、そして1名が優秀賞を受賞し7月に行われた全国大会のアナウンス部門に出場しました。

宮城県の大会はレベルが高く、10年以上全国大会に進出することができませんでしたが、この経験を生かしてこれからも伝統あるウルスラ学院英智の放送を、大勢の方に聞いていただくという役目を果たしていきたいと思っています。



科学部

百科繚乱!?

特別志学コースType2
3年 近江 啓太

私たち科学部は3年生5名、2年生2名、1年生6名、中学生7名の計20名で活動しています。毎週木、金曜日の活動で、化学分野を中心にいろいろな実験や研究を行っています。例えば、溶接などにも使われていたテルミット反応を再現してみたり、化学カイロで用いられている酢酸ナトリウム水溶液の過飽和のブレイクの観察などを行いました。

今年の6月には、科学部で合宿を行い、火星の大接近と土星の輪と木星の衛星の観測、事前には天体観測の練習で太陽の黒点の観測を行うなど、学校にある天体望遠鏡の操作を学びました。

来年の総文祭に向けて、これからもっと多くの実験を行っていかうと思います。



第46回 全国中学校バドミントン大会 【8月17日～21日 石川県金沢市総合体育館】

◆男子団体出場メンバー

[主将] 藤澤 佳史(9年)
熊谷 翔(9年)
覧村 龍之介(9年)
八島 良弥(9年)
大久保智也(8年)
安保 瑠城(8年)
齋藤 駿希(8年)



◆男子個人ダブルス出場・・・覧村 龍之介・大久保智也組
◆男子個人シングルス出場・・・藤澤 佳史

【大会を振り返って】

8月17日から行われた全国中学校バドミントン大会に出場しました。昨年は準優勝だったので今年は優勝したい気持ちが強かったのですが、二回戦で負けてしまいました。この結果を受け止めて後輩達には頑張ってもらいたいです。全国大会に出場できたのも、先生方や保護者の方々などの応援、サポートがあったからです。これからも感謝の気持ちを忘れずに、日々精進していきます。応援ありがとうございました。

中学男子主将 藤澤 佳史

◆女子団体出場メンバー

[主将] 宇都 智加(9年)
阿部 依純(9年)
櫻井 紀香(9年)
阿部 礼愛(9年)
小笠原望乃佳(9年)
戸崎 雪穂(8年)
三輪 朋香(8年)



◆女子個人シングルス出場・・・宇都 智加

【大会を振り返って】

8月17日から20日まで金沢市で開催された全国中学校バドミントン大会に出場しました。8月上旬に行なわれた東北大会では団体3位、個人4位という結果で全国大会に進んだため、全国大会は厳しい戦いとなりました。団体も個人も思うような結果を出せずベスト16に終わってしまい、とても悔しかったです。これで中学生として出る大会は終わりですが、高校生になったらインターハイで結果を残せるように、もっともっと上を目指して頑張っていきます。校長先生をはじめ多くの先生方、保護者の皆様に応援していただいたことを忘れずに、文武両道に励んでいきます。応援ありがとうございました。

中学女子主将 宇都 智加

第67回全国高等学校バドミントン選手権大会《インターハイ》【8月7日～12日 岡山県ジップアリーナほか】

男子 学校対抗 ベスト8

◆団体出場メンバー

[主 将] 荻澤 智樹(3年)
[マネージャー] 我妻 和人(3年)
日野 滋斗(2年)
嶺岸 洸(2年)
金子 優太(2年)
齋藤 晃輝(1年)
三輪 泰希(1年)
長谷川剛之(1年)



◆男子 個人対抗ダブルス
荻澤 智樹・日野 滋斗組 **3回戦** 嶺岸 洸・金子 優太組 **ベスト16**

◆男子 個人対抗シングルス
荻澤 智樹 **ベスト16** 嶺岸 洸 **3回戦**

大会を振り返って

ご機嫌様でございます。男子バドミントン部は、8月7日から岡山で開催されたインターハイで、団体ベスト8という戦績でした。昨年の結果を上回る結果が出せず悔しい思いですが、後輩が雪辱してくれることを願っています。校長先生をはじめ、顧問の先生方やトレーナーの先生、多くの先生方や友人そして保護者の皆様を支えられている感謝を忘れずに日々の練習に励んで参ります。応援ありがとうございました。

高校男子主将 荻澤 智樹

女子 学校対抗 第3位

◆団体出場メンバー

[主 将] 徳能あすか(3年)
[マネージャー] 松尾 怜奈(3年)
保原 彩夏(3年)
小原凜々子(3年)
長町 夏実(3年)
和田 穂代(3年)
村田 瑞希(3年)
鈴木ゆうき(2年)



◆女子 個人対抗ダブルス
徳能あすか・保原 彩夏組 **ベスト16** 小原凜々子・鈴木ゆうき組 **ベスト16**

◆女子 個人対抗シングルス
保原 彩夏 **ベスト16** 長町 夏実 **2回戦**

大会を振り返って

ご機嫌様でございます。女子バドミントン部です。私たちは8月7日から岡山で行われたインターハイに出場しました。偉大なる高橋先輩と松友先輩から戦う勇気をもらい、厳しい練習も仲間と助け合いながら気持ちを一つにして挑みました。優勝はできませんでしたが、この悔しい思いを後輩に託し、ウルトラ英智の伝統を引き継いでくれると信じています。これからも支えてくれる方々への感謝を胸にため、誰からも応援されるチームを目指して頑張っていきたいです。応援ありがとうございました。

高校女子主将 徳能あすか

バドミントン インド・ジュニア国際選手権 【9月4日 インド・プネ】

女子ダブルス 保原 彩夏 (松山奈未/福岡・九州国際大付高 組) **優勝**

吹奏楽部

全日本吹奏楽コンクール
第59回宮城県大会

金賞 第一位《海鋒義美賞》
同 東北大会《**金賞**》
同 **全国大会出場** (於名古屋)

合唱部

第68回全日本合唱コンクール
宮城県大会

金賞 《県代表》
同 東北大会出場

放送部

第63回NHK杯
全国高校放送コンテスト

尚志コース3年 鎌田 陽 菜
県大会 **アナウンス部門優秀賞**
全国大会出場

ウルスラ英智の教育 ～オリンピックイヤーに思うこと～



こころ

聖ウルスラ学院英智幼稚園

園長 佐取 美智子

今年オリンピックの年。うれしい歓声と涙、悔しい気持ちと涙があらこちらで、見られました。どんな結果であれ、長年培われた努力は本当に素晴らしいものです。応援した私たちにも勇気を与えてくれました。

しかし、そんな世の中のどこかでは、いまだに戦いがあつたり、人の命を自分の勝手な意思で奪ってしまったら……信じられない事件が起きたりしています。

毎日3～5才の純粋な子どもたちを見ていると、善悪の判断はもちろん、周囲の人のことを考えられる人になって欲しいといつも願うばかりです。子どもたちが、なんでも素直に受け入れ、頑張ろうとしている姿は、本当に可愛らしいものです。それをそのまま伸ばしていける教育・環境の大切さを感じます。

けんかや間違ったことをしてしまったとき、どうしてそのようなことをしたのか、何がいけなかったのか…周りの友だちと仲よく、あるいは

気持ちよく過ごすにはどうすればよいのか…等、子どもと話をすると、子どもは先生に心を開いて話を真剣に聞き、反省したり、自分の思うことを話したりします。信頼し合っているからこそ話すことができ、より信頼を深めることになります。

小さい時はもちろん、大人になってからもお互いに信頼できる人間関係は素晴らしいものです。いつ、どんな時にあっても、大切なたったひとつの命。またそれが、たくさんの方々に支えられてきたものであることに感謝し、お互いに認めあっていたら素晴らしいと思います。

幼稚園児の3～5才の人間の基礎となる時期に、思いっきり遊ぶこと、勉強、体育、芸術など、どれも大切ですが、それらを通して育みたいのは、何といっても心です。

お互いを認めあい、共に生きるための愛の心は、どんな時も忘れてはならないと思います。そして、それをしっかりと育めるところは、家庭・家族であることを、心に留めておかなければなりません。

子育て支援についても、いろいろ言われておりますが、女性の就労のためが大きくは私は思います。子どもの事を第一に考えて、これからの世代を担う子どもたちを、しっかりと育てていきたいと思ひます。



リオデジャネイロ・オリンピックを通して「教育」を考える

聖ウルスラ学院英智小・中学校
聖ウルスラ学院英智校高等学校

校長 伊藤 宣子

ゼウス神殿のあった地、オリンピアの名前を冠したオリンピック。フランス人、ピエール・ド・クーベルタン の提唱に世界の国々が賛同して始まった近代オリンピックの理念=オリンピズムについて、オリンピック憲章に次のように示されています。「オリンピズムは、肉体と意志と知性の資質を高揚させ、均衡のとれた全人のなかにこれを結合させることを目指す人生哲学である。オリンピズムが求めるのは、文化や教育とスポーツを一体にし、努力のうちに見出されるよるこび、よい手本となる教育的価値、普遍的・基本的・倫理的諸原則の尊重などをもとにした生き方の創造である。オリンピズムの目標は、あらゆる場でスポーツを人間の調和のとれた発育に役立てることにある。またその目的は、人間の尊厳を保つことに重きを置く平和な社会の確立を奨励することにある。」(JOCホームページより)

勝者からも敗者からも、入賞者からも予選だけの出場者からも、さまざまな感動を受けるオリンピックの教育上の意義は極めて大きく、そして今年、本校の卒業生が、厳しい戦いを重ねた末に金メダルを得たことは、在校生にとって言い尽くせぬほどの勇気と希望をもたらしてくれました。

リオデジャネイロへと向かう前の大切な時期に来校していただき激励会に出席して下さったことと合わせて、バドミントン女子ダブルスで優勝した高橋礼華さん(高校48回生)、松友美佐紀さん(高校49回生)に心からの祝意と感謝をおくります。

目標を持つことは神様から与えられている自己の可能性との出会いであり、だからこそ希望をもって可能性を現実のものとするための厳しい挑戦へと身を捧げることができるのでしょ。アスリートたちの祈る姿は、このことを実証しているように思ひます。挑戦者たちは、まことに悠然と大空を泳ぐ風のように、厳しい向かい風を受けて舞い上がっていく、そのような光景が目に見えびます。「試練は忍耐を、忍耐は練達を、練達は希望を生む。」という聖書のみことばを思ひます。この精神が、「あきらめない、逃げない、果敢に挑戦する」希望の生き方を貫かせるのでしょ。

そしてまた、今年7月28日、ローマ法王フランシスコは、ポーランド南部クラクフで開催中のカトリックの若者の祭典「世界青年の日」の歓迎式典に出席し、「慈悲の心があれば(あなたたちは)住む場所を失った難民や、移住を余儀なくされた人々の家や家族になれる」と語り掛け、中東などから欧州に押し寄せる難民らに心を開くよう訴えた、と報じられました。リオデジャネイロ・オリンピックにおいても、五輪史上初めて「難民選手団」が出場しました。人として、社会の組織としてのこのような「あり方」を「あるべき姿」として心に刻む機会となりました。

Piano Violin



生徒募集中
どなたでも随時入室できます。

聖ウルスラ学院英智音楽教室 ～豊かな心を育む音楽を～

聖ウルスラ学院英智音楽教室は、創設69年という長い年月、キリスト教精神を礎に、音楽を愛する多くの皆様のご支援とご協力により支えられてまいりました。

小さなお子様から「大人のための教室」も充実し、共に音楽を学ぶ楽しさを育むレッスンを行っております。

第69回

ピアノ・ヴァイオリン発表会 のお知らせ

とき/平成28年10月23日(日) 10:00～17:00
ところ/仙台市戦災復興記念館

入場
無料

どうぞ、お誘い合わせてお越しください。
●お問合せ…Tel.022-257-0341(平日 14:00～18:00)



同窓会だより

幼稚園

《集まりの日》

6年前に卒園した子どもたちが集う日。今回は九州、福岡から参加してくれた卒園生もあり、当時と変わらない園舎、園庭に懐かしさを感じながら、先生や友だちとの再会をみんなで喜びました。

さっそく、子どもたちは幼稚園時代に過ごした保育室に集まり、自己紹介や近況報告をしました。もうすぐ中学生になる子どもたちからは、勉強や部活動などを頑張りたいという話が多く聞かれ、未来へ向けての抱負を話す子どもたちの姿に成長を感じ、感動しました。

次回「集まりの日」は平成29年2月4日(土)を予定しています。



平成21年度卒園の子どもたちが集まりました

小・中学校

小・中学校同窓会会員の皆様、いかがお過ごしでしょうか。小・中学校では、この春、9回生72名が母校を巣立ち、この9年間で420名を超える同窓会員となりました。そして新学期を迎えて間もなく熊本で大きな震災がありました。思い出されるのは東日本大震災でのたくさんのご支援と励ましをいただきました。今度は私たちに何かできることはないかと考えていたところ、在校生たちが熊本のカトリック学校に震災見舞いとしてお菓子を贈ろうということになり、早速、小・中学校同窓会会長白鳥司さんのご了解を得て、その資金として20万円を寄付させていただきました。同窓会会員の皆様には事後報告という形になりましたが、この場をお借りしてご報告させていただきます。詳しくは、本誌13ページに記事が載っておりますのでご覧ください。

同窓会員の皆様は、学業に仕事に、ますます忙しい日々を送られていらっしゃると思いますが、どうぞ懐かしい先生方と新しい学び舎をいつでも訪ねていただき、旧交を深めていただければと思います。今後の同窓生のご活躍を心よりお祈り申し上げます。

(同窓会事務局より)

高等学校

《同窓会の昨今》

母校を訪れると、在学中の後輩たちが勉学に部活に精進する姿が目に見えます。挨拶の声も元気に響きます。そのような姿が、大層喜ばしく思われます。「母校の発展を図る」という同窓会の目的のひとつが活かされていることが実感されます。

また、昨年11月の「ローマ教皇謁見の旅～明日への希望～」に代表として参加した会員(54回生)の「他者のために祈ることの実践」という報告を受け、「明日への希望」を持ち帰ってくれたことを確信しました。さらに、今年は念願でありましたバドミントン部OBのオリンピック出場。熱い思いでエールを送ることができるのも心からの喜びです。

このように若い会員の活躍も顕著です。同窓会会員が心をひとつにして世代を超えた活動を行ってまいります。

会長 今野 麻里

聖ウルスラ学院英智幼稚園 卒園生の活躍

タカマツペアに続け!

『めざせ!2020年東京オリンピック』

JOCエリートアカデミー所属 張本 智和 君



2月に行われた「集まりの日」に参加してくれた卒園生の中に、大きな目標へ向けて頑張っている卒園生 張本智和君がいました。幼稚園時代からとても運動神経がよかった智和君。友だちと遊ぶことが大好きな元気いっぴいの男の子でした。

3月に仙台市内の小学校を卒業し、4月から東京都内の中学校へ進学。同時期JOCエリートアカデミーに入校し、現在4年後に開催される東京オリンピックをめざして日々練習に励んでいます。

卓球全日本選手権では小学1年生から優勝し、6連覇!輝かしい成績を残し、次期オリンピック選手として期待、注目されるきっかけとなりました。また昨年はU_15の卓球世界2位にランキングされ、中学生になって出場した卓球荻村杯ジャパンOPでは、大学生を破りU_21において史上最年少優勝を達成しました。

卒園文集の中に将来の夢をかくところがありました。智和君の夢“卓球選手になること”確実に夢に近づいていますね。聖ウルスラ学院英智幼稚園は、智和君の頑張りを応援しています!



幼稚園のおもいでギャラリー



聖ウルスラ学院英智の教育に寄せて

幼稚園 母の会

会長 山口 小百合



「お母さん、送ってくれてありがとうございます
いました」

毎朝、幼稚園に着くと娘が必ず言ってくれます。そして、他の園児からも同じ言葉が聞こえてきます。二人の子どもを幼稚園に通わせている私にとって、忙しい朝にこの言葉を聞くと、とても清々しい気持ちになります。伝統ある聖ウルスラ学院英智幼稚園に入園させていただいて本当に良かったと心から思うのです。

思えば、娘は肌が弱く、食物アレルギーもあり、幼い頃から心配が絶えませんでした。自分以外にこの子をみてくれる人がいるのだろうかと思案に暮れる日々でした。でも、娘が入園してその考えは全くなくなりました。佐取園長先生をはじめ各先生方が娘を自然に受け入れてくださり、他の園児たちにも解るようにお話して下さったのです。きめ細やかなサポートと心優しいご指導のおかげで、娘も私も安心して登園させることができています。娘の成長と共に私も成長させていただいております。

この度は、母の会の会長として微力ではありますが、子どもたちがお世話になっている幼稚園へ恩返しができたらと思っております。

小・中学校 高等学校 父母教師会

会長 渡邊 裕介



本校の校名が”聖ウルスラ学院「英智」”となってから今年で12年目を迎えます。干支で言うと”一回り”と言ったところですが、周りを見渡す限り以前では考えも付かないほど少子高齢化が進み、我々や子どもたちを取り巻く価値観や社会環境も更に多様化してきました。この様な大変厳しい状況の中でも21世紀を担う子どもたちが豊かな社会性と優れた創造性を養い、自ら責任を持って行動出来る人間として成長して行く事は全ての親の共通の願いです。その為にも子どもたちの生活の場である家庭・学校・地域社会がそれぞれの役割と責任を自覚し、子どもたちが意欲を持って生き生きと充実した生活を送れるように支援する必要があります。PTA活動を通じて先生方や保護者の皆様方と交流できる環境がある事は「共に学ぶ」と言う目的を共有できるものではないかと思います。子どもたちにとって多感な時期をこの「ウルスラ学院」で過ごす経験は一生の宝です。そんな大事な成長の時期に接する私たちの責任は重大です。児童・生徒全員が「ウルスラっ子」です。今後も皆で暖かく見守って行きたいものです。

聖ウルスラ学院英智小・中学校 教育研究開発学校(教育課程特例校)

第12回 英智公開研究会(第一次ご案内)

9月1日現在

【研究主題】

課題解決に向けて主体的・協働的に学ぶ力の育成
—対話を通して思考を深める—

- ◎日 時:平成28年**11月26日(土)** 8:50~16:30(受付 8:00~)
- ◎会 場:聖ウルスラ学院英智小・中学校 一本杉キャンパス3号館
- ◎主 催:聖ウルスラ学院英智小・中学校
- ◎後 援:宮城県・宮城県教育委員会・仙台市教育委員会
- ◎参加費:一般/2,000円(資料代を含む) 学生/無料 <別途ご希望により、お弁当・お茶 計1,000円を申し受けます>



プログラム

- 【受付】 時間/8:00~ 会場/講堂前フロア
- 【開会・ポスターセッション】 時間/8:50~9:55 会場/3号館講堂
 - ◎挨拶 校長 伊藤 宣子
 - ◎児童・生徒によるポスターセッション・プレゼンテーション
- 【全体会】 時間/10:00~10:30 会場/3号館講堂
 - ◎研究主任 渡部久美子
 - ◎英語科主任 小関晴彦 木村侑香子
- 【授業1】 時間/10:40~11:30(Fステージ:10:40~11:25) 会場/各教室
 - ◎国語・言語技術(S7)、算数(F4)、英語(T8)、理科(F2)
- 【授業2】 時間/11:40~12:30 会場/各教室
 - ◎国語・言語技術(T9)、算数(S5)、理科(T8)
- 【昼食】 時間/12:30~13:30 会場/各教室
(お弁当引き替えは3階講堂前フロアです)
- 【分科会】 時間/13:40~14:50 会場/各教室
 - ◎教科分科会 『新学習指導要領改訂に向けての各教科の学び』
- 【講演会】 時間/15:05~16:25 会場/3号館講堂
 - 講師/文部科学省初等中等教育局
教育課程課教育課程企画室長 大杉 住子氏
- 【閉会・あいさつ】 時間/16:25~16:30 会場/3号館講堂
 - ◎理事長 梶田 敏一



創設「グローバル教育基金」 ご寄附のお願い

日頃より本学院の教育活動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。私学である本学院における財政基盤は在校生の授業料、国・県からの補助金、賛同頂ける方々からの寄附金により成り立っております。

本学院に思いを寄せてくださる企業・法人・個人の皆様からのご寄附の用途は、奨学金制度の充実や施設整備の拡充等の教育活動に当てられます。昨今の厳しい社会経済状況の中、誠に恐縮ではございますが、何卒ご支援、ご協力賜りますようお願い申し上げます。

◆お手続き・お問合せは、法人事務局 TEL.022-286-5935まで

平成29年度 園児・児童・生徒募集要項の概要

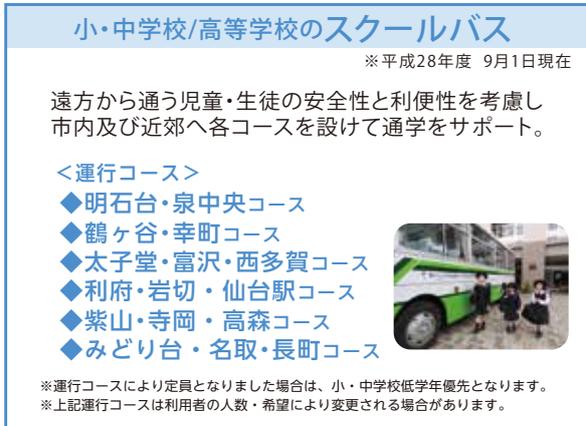
校種	募集定員等	出願日/出願期間	試験日	試験内容	合格発表	体験入園/オープンスクール等
幼稚園	3年保育/男女65名 2年保育/男女25名 1年保育/若干名	11月1日(火)	※詳しくは要項・願書をご覧ください 要項・願書配布期間…10月1日(土)～10月31日(月)			〈公開保育〉10月6日(木) 〈体験入園〉10月15日(土)
小・中学校	小学校課程 新1年生 (F1年生) 男女50名	前期	10月17日(月)～ 10月29日(土) ※日祝を除く	11月5日(土)	運動面・知能面・ 生活面の検査 面接(本人と保護者)	11月5日(土)中に 速達発送 12月3日(土)中に 速達発送
		後期	11月14日(月)～ 11月28日(月) ※日祝を除く	12月3日(土)		
	中学校課程 新1年生 (S7年生) 男女70名	前期	奨学生 12月1日(木)～ 12月19日(月) ※日祝を除く	1月5日(木)	総合問題・作文 面接(本人と保護者) ※出願条件に規定あり	1月6日(金) ※1月5日(木)中に 速達発送
		後期	一般 1月4日(水)～ 1月11日(水)正午 ※日祝を除く	1月12日(木)	①総合問題・作文 または ②2教科(国語・算数) 面接(本人と保護者)	
高等学校	特別志学コース <Type1> 男女 入学者の約20%	奨学生推薦	12月22日(木)～ 1月6日(金) ※12月29日(木)～1月3日(火) 及び日祝を除く	1月11日(水)	奨学生資格取得試験 (国語・英語・数学・社会・理科 各30分) 面接(本人と保護者) ※出願条件に規定あり	1月12日(木) ※1月11日(水)中に 速達発送
		一般 (含 奨学生・専願)	A日程/1月25日(水) B日程/1月27日(金)	学力試験(国語・英語・数学) 面接(本人のみ)	2月1日(水) ※1月31日(火)中に 速達発送	
	特別志学コース <Type2> 男女 入学者の約35%	奨学生推薦	12月22日(木)～ 1月6日(金) ※12月29日(木)～1月3日(火) 及び日祝を除く	1月11日(水)	作文・面接(本人と保護者) ※出願条件に規定あり	1月12日(木) ※1月11日(水)中に 速達発送
		一般 (含 奨学生・専願)	A日程/1月25日(水) B日程/1月27日(金)	学力試験(国語・数学・英語) 面接(本人のみ)	2月1日(水) ※1月31日(火)中に 速達発送	
尚志コース 男女 ※男子:奨学生推薦10名、他 入学者の約45%	奨学生推薦	12月22日(木)～ 1月6日(金) ※12月29日(木)～1月3日(火) 及び日祝を除く	1月11日(水)	面接(本人と保護者または本人のみ) ※出願条件に規定あり	1月12日(木) ※1月11日(水)中に 速達発送	
	一般 (含 奨学生・専願)	A日程/1月25日(水) B日程/1月27日(金)	学力試験(国語・数学・英語) 面接(本人のみ)	2月1日(水) ※1月31日(火)中に 速達発送		

併設型 中高一貫 教育学校

文部科学省
指定
教育課程
特例校
研究開発学校

〈学校説明会〉
①9月10日(土)14:00～
②10月8日(土)14:00～
〈中学校入試相談会〉
11月12日(土)14:00～
〈新学年1年生対象
オープンスクール〉
10月15日(土)13:30～
〈中学入試プレテスト
(総合問題・作文)
11月12日(土)13:30～
特典①本人入試受験料優遇
特典②二重・青陵中合格資料提供

☆高等学校:一般入試において男子も尚志コースへスライド合格判定をしています。
ただし、尚志コースに從來から設置しております1年次の大学進学選抜クラスに所属できる力が認められることを基準に男子の尚志コーススライド合格を総合判定します。



地下鉄東西線開通で、通学がとても便利になりました! 【薬師堂駅】から徒歩わずか10分



- 仙台市営地下鉄
【一本杉キャンパス】
地下鉄東西線
薬師堂駅下車 徒歩10分
地下鉄南北線
河原町駅下車 徒歩25分
- 仙台市営バス
仙台駅西口バスプール
市営バス5番のりば
(地下鉄五橋駅から乗り継ぎも可)
※<薬師堂駅行きなど>
若林区役所前下車
- JR仙石線
宮城野原駅下車 徒歩25分
- 自転車通学路

学校法人 聖ウルスラ学院



<http://www.st-ursula.ac.jp/>

聖ウルスラ学院	
英智幼稚園	〒984-0047 仙台市若林区木ノ下1丁目25番25号 TEL.022-293-4024 FAX.022-293-4014
英智小・中学校	〒984-0828 仙台市若林区一本杉町1番2号 TEL.022-286-6461(代) FAX.022-286-6431
英智高等学校	〒984-0828 仙台市若林区一本杉町1番2号 TEL.022-286-3557(代) FAX.022-286-7279
法人事務局	〒984-0828 仙台市若林区一本杉町1番2号 TEL.022-286-5935 FAX.022-286-6334

聖ウルスラ学院報 英智報 Vol.37

〔編集委員〕委員長/高橋 直見(法人事務局長)
幼稚園/平山 裕子・沢田 智恵
小・中学校/日下 彩香
高等学校/伊勢 美樹・吉井 恭子・遠藤 あゆみ
〔編集事務局〕今野 正則(法人事務局次長)・庄司 良祐
〔編集協力・製本〕株式会社アド東北プロ